

# 大会報告書

## 「青少年のための科学の祭典」名張大会報告書

- ①主催 「青少年のための科学の祭典」三重大学大会実行委員会  
公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館
- ②後援 文部科学省、経済産業省、三重大学、三重県教育委員会、津市教育委員会、亀山教育委員会、名張市教育委員会、伊賀市教育委員会、尾鷲市教育委員会、熊野市教育委員会、紀北町教育委員会、三重県総合博物館、三重県教職員組合、三重県小中学校理科教育振興会、三重県中学校理科教育研究会、三重県高等学校理科教育研究会、三重県中学校技術・家庭科研究会、全国科学館連携協議会、全国科学博物館協議会、NHK、日本物理教育学会、一般社団法人日本生物教育学会、日本地学教育学会、日本基礎化学教育学会、一般社団法人日本科学教育学会、一般社団法人日本理科教育学会、一般社団法人日本地質学会、一般社団法人日本生物物理学会、一般社団法人日本物理学会、公益社団法人応用物理学会、公益社団法人日本化学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本アイソトープ協会、公益社団法人日本理科教育振興協会、一般財団法人日本私学教育研究所、公益社団法人日本植物学会、公益社団法人日本動物学会、公益社団法人日本天文学会、公益社団法人日本工学会、一般社団法人電気学会、日本エネルギー環境教育学会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、産経新聞社、中日新聞社、伊勢新聞社、三重テレビ放送、株式会社 ZTV
- ③協賛 独立行政法人国立青少年教育振興機構、中部電力株式会社、岡三加藤文化振興財団、株式会社啓林館、住友電装株式会社、太陽化学株式会社、株式会社ライフテクノサービス、大日本図書株式会社、株式会社島津理化
- ④会場 名張市教育センター（三重県名張市百合が丘5番町25番地）
- ⑤開催日時 平成28年10月22日（土）  
10:00～15:00 開催
- ⑥来場者数 555 人
- ⑦出展数 18ブース
- ⑧出展タイトル一覧
1. ウルトラ浮沈子を作ろう
  2. 炭電池でモーターを回そう
  3. 「CCレモン電池」でオルゴールを鳴らそう
  4. 「ベンハムのこま」を作ろう
  5. 「あーで踊るへび」であそぼう
  6. 空気砲でロウソクを消そう
  7. 液体窒素で、マイナス200℃の世界
  8. 静電気の「ふわふわクラゲ」をつくろう
  9. 「のぼり人形」を作ってあそぼう
  10. 分光シートで、光を分解しよう
  11. 「とびだすビル」を作って、高さを実感
  12. 「しかけ絵本」で、うごく馬を作ろう
  13. 紙コップで「コケコッコ」を鳴らそう
  14. マイギリ式火おこし器で、火をおこそう

15. ジャコの中から、「チリメンモンスター」を見つけよう
16. ちょー簡単電気モーターを作ろう
17. 空き缶で、アルコール爆発ロケットを飛ばそう
18. 虫入り琥珀をみがこう

- ⑨製作物
- ・チラシ A4版／片面カラー、片面モノクロ／製作部数： 7000 枚
  - ・実験解説集（表紙：B5フルカラー、中解説集 B5 白黒両面 42 ページ） 50 部
  - ・会場案内看板：7 枚
  - ・各ブース名称パネル：19 枚

⑩広報活動

1. 案内チラシは、教育委員会、各学校長を通じ、名張市の各小中学校の全児童生徒・教職員に配布。  
各小中学校にはポスター掲示分も配布。地域（百合が丘）の市民センターにチラシを配布。
2. 名張大会のお知らせは、地元FMなばりによる中継、10月8日付け地元タウン誌「YOU」、10月13日付け読売新聞、10月15日付け産経新聞に掲載。また、大会のようすは、10月23日（日）付けの中日新聞に掲載された。地元のケーブルテレビ「ADS」では、10月25日（火）～26日（水）まで、大会のようすが約3分間、数回にわたりADSニュースとして、放映された。

⑪その他

来年度実施予定

日時 2017年10月28日（土）10時から15時

場所 三重県名張市百合が丘5番町25番地 「名張市教育センター」